

令和5年度 第2回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和5年12月1日(金)
午後2時00分～3時00分
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、小久保 規与子、内田 英伸、岩田 知子、横井 定、桑山 桂子、
小川 昌悟、月村 正、藤谷 昌代
欠席委員 吉川 永浩
事務局 足立経済環境部長、大島資源対策課長、川口主幹、後藤主幹、野村主任
オブザーバー 森田経済環境部次長兼環境保全課長、吉川環境施設課長

<午後2時00分> ●開会

課長 本日は、御多忙のところ当審議会に御出席賜り、誠にありがとうございます。この会の進行を務めさせていただき資源対策課長の大島光之と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、この審議会を開くにあたり、10名の委員のうち、過半数を超える9名の委員の出席をいただいております。稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項の規定により、本会議が成立することを御報告いたします。

続きまして、審議会の開催にあたり、経済環境部長の足立和繁があいさつを申し上げます。

部長 (あいさつ)

課長 ここからの議事の進行は、稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第3項の規定により、足立会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長 (あいさつ)

<午後2時02分> ●議題1「稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例の規定による諮問について」

会長 それでは「議題1 稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例の規定による諮問について」を議題とします。最初に諮問事項1について、事務局から説明をお願いします。

事務局 説明<資料1 諮問事項1 発火性危険物の別収集について>

会長 説明が終わりました。委員の皆様のご意見はございませんか。

横井委員 週2回収集というのは良いことだと思います。

会長 可燃ごみとの同時収集について、市のメリット、デメリットを説明してください。

事務局 メリットは、既存の可燃ごみの収集と同時に行うため、大幅なコストの増加には繋がらない、ということです。デメリットは、3種類の発火性危険物を1つの袋にまとめて入れるため中間選別が必要である、ということです。

会長 他の市町村の収集方法も調べた上で、この方法を検討したということでしょうか。

事務局 お見込みのとおりです。

横井委員 可燃ごみ集積場所にペットボトルが2本置いてあるのは、万が一発火した時の消火のためでしょうか。

事務局 発火した時の対策ではなく、可燃ごみにネットを被せた際にカラスや猫が入り込まないように、おもりとして置いてあるものと推測されます。

内田委員 スプレー缶は穴を開けないで出すということですが、これは、以前火災事故があったからということでしょうか。

事務局 環境省から、穴を開けずに出す体制を自治体の方で整備するよう通知が出されております。内田委員のおっしゃる通り、札幌や大阪で、室内で穴を開けたために発火して死傷者が出たという火災事故がありました。そういったことが二度と起こらないよう、今回、稲沢市も穴を開けずに出す体制を整備しようということで検討を進めているものです。

内田委員 フロンガスの大気中への放出を防ぐ意図もあるのでしょうか。

事務局 今回は火災や身体への危険がないように、という観点から、発火性危険物の対策を行うものでございますが、温室効果ガス等の大気中への放出の対策についても、今後、処理工程を整える中で検討していく必要があると考えております。

岩田委員 可燃ごみの収集をしている委託業者の委託料が上がるのではないのでしょうか。また、排出方法の周知はどのように行うお考えですか。

事務局 可燃ごみと同時収集した場合、作業量が増えますので、収集運搬委託業者からは委託料は若干増える見込みと聞いております。ただ、発火性危険物のみを単独で収集すると委託料は大幅に増える見込みですが、可燃ごみとの同時収集ですと特段作業量の増加にはつながらないため、コストを抑えつつ、排出の機会を増やすことができるということで、前向きに検討しているところでございます。

広報としては、組回覧チラシやSNS、市ホームページを活用した方法のほかに、今年度改訂を行う分別辞典のデザインを一新して、市民の皆様の目に触れるような広報を展開したいと考えております。

会長 スプレー缶は現在奨励金の対象となっていますが、今後はどうなりますか。

事務局 スプレー缶はスチール類として奨励金の対象になっていますが、可燃ごみと同時収集になりますと奨励金の対象ではなくなります。ただ、重量的にはかなり少ないため、奨励金の額としては大きな影響はないものと考えております。

小久保委員 可燃ごみを集めるパッカー車で収集すると、発火性危険物が発火するおそれはありませんか。

事務局 今回の可燃ごみとの同時収集については、ごみ収集業務委託業者からの意見があり、パッカー車に積み込める余地はあるということで検討を始めました。パッカー車の中に入れて圧縮すると発火の危険がありますので、委託業者からは圧縮をしないスペースに積み込んで回収すると聞き及んでおります。

小久保委員 発火性危険物の処分方法は変わらないでしょうか。

事務局 現在、充電式電池は小型家電、ライター類は不燃ごみ、スプレー缶はスチール類として収集しております。今後は、3種類まとめて収集した後中間選別を行い、現在と同様の処理方法であります。充電式電池は小型家電として売却、ライターはガスを抜いて不燃ごみ、スプレー缶はガスを抜いてリサイクル資源として売却するという方法を検討しております。

会長 別収集の方法として提示された案を比較・検討した結果、市民の方が週2回排出可能であるといった利便性や、集積場所のスペースの問題を解決するといった実現性の面、及び発火性危険物を危険なく回収するといった本来の目的に沿うものであると考えます。

 諮問事項1につきましては、可燃ごみとの同時収集が妥当であるとの答申したいと思います。

 よろしいでしょうか。ご賛同いただける場合は拍手をお願いします。

(拍手多数)

会長 ありがとうございました。拍手多数と認めます。
次に諮問事項2について、事務局から説明をお願いします。

- 事務局 説明<資料1 諮問事項2 ミックスペーパー回収の導入について>
- 会長 説明が終わりました。委員の皆さんのご意見はございませんか。
- 月村委員 回収業者とは、ある程度話し合いは済んでいるのでしょうか
- 事務局 収集を行う資源組合や紙の処分業者とは十分な打ち合わせを進めております。
- 月村委員 以前、どこかの自治体で一方的に実施して混乱したと聞いていたので、心配しておりました。
- 内田委員 ミックスペーパーという言葉が分かりづらいのではないかと思います。また、パックの内側にアルミが貼ってある紙はどうなるのでしょうか。
- 事務局 ミックスペーパーという呼称については、雑がみの基準が大きく変わることに併せて、視認性を高めるため、あえて使用するものでございます。横文字になるので分かりづらいという点につきましては、今後、綿密な広報展開を行い、市民の皆さまには分かりやすくお伝えしていきたいと考えております。
- アルミ加工してある紙は難再生古紙になりますが、今後はミックスペーパーとして回収し、リサイクルが可能となります。
- 会長 市としては、中間処理費用が掛かるというデメリットよりも、リサイクル率の向上というメリットの方が大きいと考えられたと思います。一方、市民の方のメリット、デメリットはどういったことが想定されるでしょうか。
- 事務局 市民の方にデメリットはないものと考えております。これまでの分別の問題点としては禁忌品が多かったことがありますが、今回からは、例えばプラ窓封筒やティッシュの箱などをそのまま出せるようになり、出せないものは汚れた紙のみという、非常に分かりやすい分類になります。また、収集量が増えていけば、奨励金という形で行政区への還元が増えていくと考えております。中間処理費用は掛かってまいりますが、市民目線で捉えるとメリットが大きい取り組みと考えております。
- 小川委員 リサイクルできないものは汚れた紙のみということですが、汚れた紙の基準は何かありますでしょうか。
- 事務局 油污れや臭いがつくような紙、食品残渣がついた紙になります。実際にはそのような紙も再資源化は可能ですが、中間処理や運搬上、衛生的に問題があったり悪臭がする懸念がありますので、ミックスペーパーからは除いていただくよう、周知を進めてまいります。

会長 周知・啓発については、どのような方法を考えていますでしょうか。

事務局 広報の方法としては、従来の手法、例えば市ホームページ、SNS、組回覧チラシのほかに、今年度改訂を行う分別辞典への掲載を考えております。また、本日から配信を開始しておりますごみ分別アプリ「さんあ〜る」も、新しい広報ツールとして活用を図ってまいりたいと考えております。

委員の皆さまには、従来の広報方法とは別のアプローチや広報手段をご提案いただければと思います。

岩田委員 回覧板や広報を見ないことがあるので、学校でお子さんに渡したり、保護者会等で保護者の方に直接渡したりするのが良いのではと思います。

会長 小久保委員にお伺いしますが、岩田委員のご提案のように、学校でお子さんや保護者にお伝えする方法はありますか。

小久保委員 何かをお伝えしようとする場合は、教育委員会や校長会を通して依頼していただければ良いと思います。

吉川環境 「tetoru」(テトル)という保護者連絡ツールのアプリがありますが、そちらを施設課長 使って配信することは可能でしょうか。

小久保委員 教育委員会から配信の依頼があれば別ですが、本来の用途と違うため、おそらく配信はできないと思います。むしろ、4年生の環境学習の際に紙媒体で配る方が伝わると思います。学校でもSDGsや環境問題を教えることは大事だと考えていますので、協力できる部分は協力したいと思っています。

工場見学について、長岡小学校は環境センターまでタクシーで行っていますが、学校の予算も少ない中、高いタクシー代を使ってここまで来るのはなかなか厳しいです。ただ、子どもたちに環境について学んでほしいという思いは、市も学校も同じだと思いますので、上手くリンクさせてやっていければ良いと思います。

会長 学校のアプリで配信すると收拾がつかなくなるので難しい、ということだと思います。

内田委員 ビニール袋に入れて出すことは可能とのことですが、回収場所のかごにそのまま入れることはできませんでしょうか。

事務局 雑がみについては、分別収集の回収場所には特にかごは用意しておりませんが、紙袋に入れたり束ねたりして出していただいております。紙袋が手に入りにくい状況の中で、今回のミックスペーパーのリサイクルについては、ビニール袋に入っている

も全く問題ないと処理工場から伺っており、排出方法を増やすという観点から、ビニール袋に入っているとしても出すことができるということをご案内するものです。

内田委員　できれば紙袋で出していただき、無い場合はビニール袋でも構わないと周知していただけると良いと思います。

横井委員　新しい事業は、老人会等、いろいろな団体に根気よく周知していただければ浸透していくと思います。

事務局　周知については、イベント時に周知したり学校の教育の一部に加えたり、いろいろな手法があるということを進進地から伺っております。周知方法につきまして、委員の皆さまには、それぞれのお立場からご提案いただけるとありがたいと思っております。

会長　「さんあ〜る」では周知されますでしょうか。

事務局　この事業が始まっていないので、まだ「さんあ〜る」には載せていないのですが、事業開始が近づきましたらインフォメーション機能を使って周知する予定です。

会長　「さんあ〜る」は、稲沢市民の何パーセントがインストールしているかは分かりますか。

事務局　本日から配信を開始しておりますので、これから調べてまいります。なお、午前中で300アクセスほどがありました。

藤谷委員　市の公式LINEに「さんあ〜る」を入れていただき、いつでも見られるようにすることで、若い人の目に触れる機会を増やしていただくと良いと思います。

事務局　市の公式LINEでも見られるようにしたいと思っております。また、「さんあ〜る」については、アプリをインストールしなくてもパソコンで見られるウェブ版もございます。

会長　諮問事項2につきましては、従来の広報手段に加え、市単独ではなく、他の団体を絡めた広報展開の調査・研究を進めていくことが妥当であるとの答申としたいと思います。よろしいでしょうか。ご賛同いただける場合は拍手をお願いします。

(拍手多数)

会長　ありがとうございました。拍手多数と認めます。

議題1につきましては、これをもって審議会の答申とさせていただきます。

なお、答申は、第3回の審議会で委員の皆さまにお渡しいたします。

<午後2時45分> ●議題2「令和5年度のごみ処理状況について」

会長 それでは、次の議事に移ります。「議題2 令和5年度のごみ処理状況について」事務局から説明をお願いします。

事務局 説明<資料2>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見はございませんか。

藤谷委員 総ごみ処理量と家庭系ごみ処理量のグラフについて、10月が増えている理由は何でしょうか。また、昨年度の2月が減っている理由は何でしょうか。

事務局 10月が増えている明確な理由は分かりません。2月については、日数が他の月と比べて少ないため、ごみの量が減っているものと思われま

※上記事務局回答に誤りがあったため、会議終了後、環境施設課吉川課長から、「気候の良い時期はごみの量が増える傾向があるため、10月は増えたものと思われま

横井委員 フードドライブを行うようになってから生ごみは減りましたでしょうか。

事務局 例年可燃ごみの組成調査を行っており、その中で生ごみの比率も調査しております。フードドライブが始まったのは平成30年からになりますが、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年から、感染症対策で組成調査がストップしておりましたので、フードドライブがどこまで影響しているかは分かっていない状況です。なお、今年度から組成調査を再開する予定ですので、影響があれば数値として見えてくると考えております。

<午後2時50分> ●議題3「その他」

会長 それでは、次に「議題3 その他」ですが、事務局から報告はありますか。

事務局 2点ご報告がございます。

事務局 1点目報告 <資料3：フードドライブ実施報告>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見、御質問はございませんか。

会長 フードドライブを始めてから、何かトラブルはないでしょうか。

事務局 今のところは、特にトラブルはございません。フードドライブで集まった食品は最終的に一宮市にありますのわみ相談所に持ち込んでいますが、あらゆる食品を受け入れていただいております、受付から搬入までスムーズな流れができております。

今後の課題としては、市内で常設の窓口を設けて食品を受け入れているところがあるため、期間限定の窓口である市への持ち込みが少なくなっている状況がございますが、市内の子ども食堂に優先的に食品を配布するためには、市でも回収量を維持していかなければいけないと考えております。今回から、稲沢市職員互助会でも窓口を設置しておりますが、今後も新しい取り組みをしてまいりたいと考えております。

会長 それでは、次の報告をお願いします。

事務局 2点目報告 <資料4：民間資源回収場所調査>

会長 説明が終わりました。委員の皆様の御意見、御質問はございませんか。

(なし)

会長 特にご意見も無いようでしたら、以上で本日の審議内容は全て終了させていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。

課長 足立会長、ありがとうございました。
次回の審議会の開催予定は、2月下旬を予定しておりますので、よろしく願いいたします。皆様、本日はお疲れさまでした。

<午後3時00分> ●閉会